

# 令和2年度 学校評価アンケート(教員用)

三沢高校(定時制)

4…よくあてはまる、3…ややあてはまる、2…あまりあてはまらない、1…まったくあてはまらない

分類	番号	項目	平均
目標	1	自主・自律の精神を涵養し、自らの将来を切り拓くことができる生徒を育成している。	3.38
	2	自他を敬愛し、社会規範を身に付け、多様な人々と協働できる生徒を育成している。	3.25
	3	郷土の文化や伝統を育み、心身ともに健全である生徒を育成している。	3.00
	4	学校行事・部活動等の生徒の活動状況や学校の教育活動について、保護者に伝えるようにしている。	3.13
学校運営関係	5	各分掌の目標・活動計画は、教育目標や学校課題を踏まえている。	3.88
	6	各分掌が自己評価を行い改善にむけた努力をしている。	3.75
	7	公文書の收受・記入・点検・発送・保管を適切に行っている。	3.88
	8	各分掌間の連携が図られている。	4.00
	9	教職員は、校内及び校外の研修会に積極的に参加するなどして、資質向上に向け、意欲的に取り組んでいる。	3.25
	10	教職員の間で、教育上の諸問題に対して気軽に話し合う雰囲気がある。	4.00
	11	生徒の人権を重んじ、生徒一人一人の理解を深める努力をしている。	4.00
	12	生徒の個人情報の取り扱いについては十分に配慮している。	4.00
	13	柔軟で特色のある教育課程を編成し、横断的な教育活動に取り組んでいる。	3.75
	14	家庭と緊密に連携をとり、生徒一人一人の家庭環境の把握理解に努めている。	3.75
	15	保護者や地域住民が、気軽に学校を訪問できるよう配慮している。	3.13
学習指導関係	16	科目履修・単位修得・卒業認定等に関する校内規定について、生徒・保護者に説明している。	3.63
	17	ベル前入室、ベル着等に取り組み、授業時間(45分)をきちんと守っている。	3.00
	18	教科・科目の指導方針や評価について、わかりやすく説明している。	3.50
	19	生徒の学力や興味・関心などの実態を踏まえて、教材の精選・研究に努め、教科指導している。	3.50
	20	生徒一人一人の基礎学力を高めるために、個に応じた指導を工夫・実践し、「わかった」と生徒が実感できる授業を展開している。	3.38
	21	生徒指導の方針や具体的方法・内容について生徒・保護者にわかりやすく説明している。	3.50
	22	非行・いじめなどの生徒の問題行動を予防するため、普段から生徒の生活・行動について把握している。	3.63

生徒指導関係	23	遅刻や容儀指導等の生活指導が共通理解のもとに行われ、指導に差異がない。	3.63
	24	学校行事や生徒会活動に教職員が協力的に取り組んでいる。	3.75
	25	学校行事や部活動を通し、良好な人間関係が築かれ、生徒の自主性・自発性が育成されている。	3.63
	26	生徒の心身の健康や安全について、適切な指導を行っている。	3.75
	27	スクールソーシャルワーカーの活用等により、生徒に対するより効果的な指導ができるようになった。	3.75
進路指導・キャリア教育関係	28	社会的・職業的自立に向けて、今何をなすべきかという合目的な行動を促し、進路に対する意識を啓発している。	4.00
	29	3年（4年）を見通し、計画的で系統だったキャリア教育に取り組んでいる。	3.88
	30	「諦めない、怠らない」という意識を醸成している。	3.50
	31	進路指導の方針や具体的方法・内容について生徒・保護者にわかりやすく説明している。	3.50
	32	生徒や地域の実態に応じた進路指導を行っている。	3.63
	33	全教職員が連携して進路指導を行っている。	3.63
学校管理関係	34	金銭・物品の出納は、適切な手続に従って処理されている。	4.00
	35	教職員が省エネや資源の節約について心がけ積極的に取り組んでいる。	3.63
	36	視聴覚機器が適切に管理されていて活用しやすい状況にある。	3.88
	37	学校施設・設備は大切に扱われている。	3.88
	38	学校施設・設備は定期的に点検され整備されている。	3.88
	39	緊急時などに、家庭や関係諸機関への連絡がすぐ取れるように資料（緊急連絡網等）を整備している。	4.00
	40	災害や事故防止のための管理体制が整っている。	3.88